

## 2017年9月 キューバ情勢

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) シエンフエゴス県9月5日人民蜂起記念式典
- (2) ハリケーン・イルマの襲来
- (3) 人民権力市議会議員選挙の日程変更
- (4) 石油及び天然ガスに関する国際会議の開催
- (5) 在宅インターネットの拡大

#### 2 外交

- (1) スペイン外相のキューバ訪問
- (2) エルサルバドル外相のキューバ訪問
- (3) 米ホワイトハウスによるキューバに対する対敵通商法の適用延長決定
- (4) 第6回米キューバ二国間委員会の開催
- (5) ディアスカネル国家評議会第一副議長へのロドリゲス・ドミニカ共和国検察長官による表敬
- (6) カブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣のロシア訪問
- (7) マドゥーロ・ベネズエラ大統領のキューバ訪問
- (8) ロドリゲス外務大臣の第72回国連総会出席
- (9) ロドリゲス外務大臣とティラーソン米国务長官の会談
- (10) ロドリゴ・マルミエルカ外国貿易大臣シンガポール訪問及び第35回ベトナム - キューバ二国間会議参加
- (11) 米国政府による大使館員国外退去の決定とそれに対するキューバの発表
- (12) メキシコへキューバ医師団を派遣

### 【本文】

#### 1 内政

- (1) シエンフエゴス県9月5日人民蜂起記念式典

5日、シエンフエゴス県にて9月5日人民蜂起60周年式典が開催され、ラウル・カストロ国家評議会議長他政府高官が出席した。また、60周年にあわせ、シエンフエゴス県内では多数の行事が開催され、芸術活動の振興を目的とする「シンコ・デ・セプティエンブレ（9月5日）」彫刻館も開館した。

- (2) ハリケーン・イルマの襲来

9月7日から10日にかけてハリケーン・イルマがキューバを横断。200万人以上が避難を余儀なくされ、死者は10名発生。全国的に停電及び断水を伴う深刻な被害を及ぼした。我が国は19日にポリタンク、浄水器等の緊急物資援助を供与した。国連によるハリケーン被害対応アクション・プランが作成され、各国がお見

舞いメッセージ及び支援を表明。キューバ観光省及び各関連外国資本は海岸沿いの観光地の復旧に力を入れ、11月に開始する観光ハイシーズンまでのホテルの復旧を目指した。また、ハリケーンの影響で住宅に被害が出た国民に対しては、建設資材を50%の価格で提供するなどの政策を投じた。

### (3) 人民権力市議会議員選挙の日程変更

ハリケーン・イルマの被害の復旧に全力を注ぐため、また、選挙プロセスへの最大限の参加を確保するため、人民権力市議会議員選挙の日程を第1回選挙は11月26日、第2回選挙（第1回選挙で有効投票の過半数を獲得する候補者が無い場合の決選投票）は12月3日に変更した。

### (4) 石油及び天然ガスに関する国際会議の開催

27-29日、キューバ石油公社が受け入れ機関となり、ハバナにて石油及び天然ガスに関する国際会議が開催された。各国の石油関連会社及び50名以上の専門家が集まった。

### (5) 在宅インターネットの拡大

29日、キューバ通信公社（ETECSA）はハバナ県内にとどまっていた在宅インターネットサービスをその他の地域にも拡大したと発表。価格は月30時間15CUC（1000/256Kbps）から70CUC（4096/512Kbps）となっている。

## 2 外交

### (1) スペイン外相のキューバ訪問

6日、ラウル・カストロ国家評議会議長は、ダスティス・スペイン外相の表敬を受けた。会談の中で、二国間関係の良好な発展に満足の色を示し、歴史的、文化的に深い繋がりを有する両国に相応の更なる関係拡大を目指すことで一致し、国際情勢についても議論した。

また同日、キューバ・スペイン外相会談が行われた。ロドリゲス・キューバ外相は、スペインがEUキューバ関係を緊密化することに建設的な役割を果たしていることに謝意を表した。

### (2) エルサルバドル外相のキューバ訪問

7日、マルティネス・エルサルバドル外相はディアスカネル国家評議会第一副議長を表敬した。二国間関係が良好に進展していること及び今後の更なる発展の可能性があることで一致し、国際・地域情勢、CELACの今後の方向性について議論した。同日、外相会談も行われた。

### (3) 米ホワイトハウスによるキューバに対する対敵国通商法の適用延長決定

8日、米ホワイトハウスは、キューバに対する対敵国通商法の適用を1年延長す

る旨の大統領覚書を発出した。

#### (4) 第6回米キューバ二国間委員会の開催

19日、ワシントンにおいて、第6回米キューバ二国間委員会が開催された。キューバ側は、ビダル外務省米国総局長、米国側は、クリーマー西半球担当国務次官補代理が議長を務めた。会合において、キューバは、相互尊重に基づく対話を続ける意思を示し、また、過去2年間の間に署名された二国間協定を実施していく用意があることも伝達した。

在キューバの米国人外交官及びその家族のいわゆる「健康被害」事案について、キューバは、外交官の保護義務を厳格に遵守しており、国内でそのような犯罪行為が遂行されることを決して許さないとした。また、キューバ当局は、事案の解明に強い関心を有しており、政府の最高レベルからの指示で、調査を完遂させ、そのために米国の当局と協力することが不可欠であることを強調した。

#### (5) ディアスカネル国家評議会第一副議長へのロドリゲス・ドミニカ共和国検察長官による表敬

20日、ディアスカネル第一副議長は、ロドリゲス・ドミニカ共和国検察長官の表敬を受けた。会合では、麻薬不法取引、移民を含む人身売買、汚職などの国際犯罪の防止と対処のための協力等、二国間関係の深化について話し合われた。

#### (6) カブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣のロシア訪問

・16日から26日までカブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣はロシアを訪問した。

・21日、モスクワで、キューバ・ロシア間の経済通商及び科学技術協力のための第15回政府間委員会が開催され、キューバ側は同副議長、ロシア側はロゴージン副首相が代表を務めた。会合の終わりに同副議長とロゴージン副首相は、ハバナの高層ビルのためのロシア製エレベーターの提供、エネルギー、鉄道等に関する6つの文書と第15回セッションの最終報告書に署名した。

・26日、モスクワにて、同副議長はドヴォルコヴィッチ・ロシア副首相と会談した。両者は、エネルギー分野の主要プロジェクトに満足すべき進展が見られることを確認し、キューバへ経済社会開発計画においてロシアが効果的に参画しうる新たな協力分野に関して協議した。同副議長は、プチコフ・ロシア非常事態相 (Ministro de Situaciones de Emergencia) とも会談し、ハリケーン・イルマによる被害への対応のため、キューバ側に1,200トンの人道支援を提供するとのロシア政府の決定が伝えられた。

・同副議長は、ドンスコイ・ロシア天然資源・環境大臣 (Ministro de Recursos Naturales y Ecologia) とも会談した。会談において、キューバ中央部及び東部でここ数年発生している干ばつ対策への協力の今後の進め方を明確化した。

・その他、同副議長は農業、交通、通商産業、財務の各大臣と会談した他、Rosneft

(注：石油開発企業)，Autovaz, Kamaz, Gaz (注：いずれも自動車メーカー)，Vaz (鉄道会社) Sinara (投資会社) とNovatek (天然ガス生産供給社) といった企業とも会談した。また，ロシア輸出センター長，国際投資銀行総裁とも会談した。

(7) マドゥーロ・ベネズエラ大統領のキューバ訪問

21日，ラウル・カストロ国家評議会議長とディアスカネル国家評議会第一副議長は，ハバナ国際空港にてマドゥーロ・ベネズエラ大統領を出迎えた。同大統領は，ハリケーン・イルマによる被害に対する，ベネズエラからの援助物資の引渡式(22日)への出席のため来訪した。

(8) ロドリゲス・キューバ外相第72回国連総会出席

22日，ロドリゲス外相が第72回国連総会に出席し，一般討論演説に臨んだ。

(9) ロドリゲス外務大臣とティラーソン米務長官の会談

26日，ロドリゲス外務大臣は米務省においてティラーソン長官を表敬した。本会談の目的は在キューバ米大使館員の健康問題の件に関する協議であった。ロドリゲス大臣は，キューバ当局が本件について真剣かつ迅速に取り組んでいると述べ，本件の解明には米当局の効果的な協力が重要だと述べた。

また，在米キューバ大使館の外交官2名の追放の決定とそれに際する米側の主張は不当であり，キューバは外交関係ウィーン条約を遵守していると強調した。一方，ロドリゲス大臣は，両国が共通の関心を有する分野について二国間対話を続けるとのキューバ側の意思を伝えた。

(10) マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のシンガポール訪問及び第35回ベトナム - キューバ二国間会議への参加

28-30日，マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣は，シンガポールでアジアラテン商業シンポジウム2017に参加した。その後ベトナムで二国間会議に参加した。キューバ進出ベトナム企業は100社以上。キューバの対ベトナム輸出品目は医薬品が多く，またハノイの病院に医療団も送っている。今後は科学技術面での交流プログラムも期待される

(11) 米国政府による大使館員国外退去の決定とそれに対するキューバの発表

29日，米国政府は，「音響攻撃」の主体について両国政府は未だに特定し得ていないが，キューバ駐在の米国大使館員の安全を確保できないとして，キューバ政府が米国外交官の安全を確保できるまで，館員とその家族に国外退去を命じ緊急要員のみを残す旨発表し，米国民に対してキューバ渡航回避の勧告を発出した。この決定に対しビダル・キューバ外務省米国総局長からプレス向けの宣言が発出された。

(12) メキシコへ医師団を派遣

29日、9月7日及び23日に発生したメキシコ南部オアハカ州の地震の被害者救援のため、40名で構成されるキューバの医師団がハバナ国際空港を出発した。ラレス保健大臣に見送られた同医師団は医師19名、看護師18名、心理学者、検査技師、麻酔医と理学療法士から構成され、災害と伝染病を専門としている医師団「ヘンリー・リーブ」のメンバーも含まれる。

### 3 要人往来

#### (1) 来訪

ファルギア・マルタ共和国国会議長  
ダスティス・スペイン外務大臣  
ボニージャ・エルサルバドル外務大臣  
ペニャ・アルゼンチン大統領  
ロドリゲス・ドミニカ共和国検事総長  
マドゥーロ・ベネズエラ大統領

#### (2) 往訪

メディーナ外務省第一次官アジア訪問（ベトナム、日本、中国）  
カブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣のロシア訪問  
ロドリゲス外務大臣による第72回国連総会出席  
ディアスカネル国家評議会第一副議長によるアンゴラ訪問（ロレンソ大統領就任式参加）  
マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣のシンガポール及びベトナム訪問